

I 令和元年度一般会計の決算状況

1 決算規模及び決算収支

令和元年度は、当初予算664億1000万円(対前年度比+4.5%)に、市民からの寄附を財源とした旧山口井筒屋宇部店の取得等や8月の大雨による災害復旧費のほか、国の補正予算を活用したGIGAスクール構想関連経費や新型コロナウイルス感染症対策に係る経費など、年度途中に発生した行政需要の増加に対応するための補正予算15億3882万3千円を追加し、小学校空調整備やブロック塀緊急対策工事等をはじめとする国の補正予算などに伴う平成30年度からの繰越予算25億5952万3千円を含めた最終予算額を705億834万6千円(対前年度比+5.0%)としました。

決算額は、歳入680億9000万円(対前年度比+4.5%)、歳出661億2176万円(対前年度比+4.1%)となり、歳入歳出差引額(形式収支)は、19億6824万円で、この形式収支から繰越明許費等に係る翌年度へ繰り越すべき財源7億244万円を控除した実質収支(純剰余金)は、12億6580万円となりました。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分		令和元年度 a	平成30年度 b	比 較	
				a-b	a/b×100
歳 入 総 額	A	68,090,000	65,128,035	2,961,965	104.5%
歳 出 総 額	B	66,121,760	63,523,433	2,598,327	104.1%
歳入歳出差引額 (A-B)	C	1,968,240	1,604,602	363,638	122.7%
翌年度へ繰り越すべき財源	D	702,440	469,283	233,157	149.7%
実 質 収 支 (C-D)	E	1,265,800	1,135,319	130,481	111.5%